

【第8号様式】おきなわSDGs認証制度会員レポート（認証を受けた日から1年経過時）

1. 団体情報

企業・団体名	株式会社okicom
--------	------------

2. 申請内容

(1) 2030年のあるべき姿（ビジョン） ※記載必須

<p>※SDGsの目標である2030年までに、「(2)今後2年間で特に注力する活動・取組」の実現によって、貴社が目指す未来を記載ください。                  (貴社が担いだし社会、地域の発展に向け貴社が考えられる、それに対して貴社ができる取組の方向性を示す)</p> <p>貴社のビジョンである「ITの力で地域経済の発展と持続可能な社会実現を目指す」は、SDGsの達成を目指すものであり、社員一人ひとりが業務を行う上で自覚し、それぞれの職務を全うすることでSDGs達成を目指す。                  貴社が立ち上げた「沖縄DXプロジェクト」を展開し、今後2年間でIT技術を活用しながら、伝統工芸の普及、ゴミを出さない循環型ビジネスモデルの構築を行う。</p>	<p>2030年のあるべき姿の実現に向けて取り組む目標                  ※SDGs#17のゴールから選択し、アイコンを入れてください。</p> 
--	---

(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組 ※最低3個（社会・環境・経済）は記載必須

No.	今後特に注力する活動・取組		おきなわ SDGsアクションプランとの関係性		関連するSDGsターゲット	関連するステークホルダー	補足事項・留意点等	貴団体に於けるKPI（目標管理指標）			KPI達成度	活動・取組結果概要		
	概要	分類 ※任意の欄は、フルタイムかつ労働者数を記載しない。	優先課題	SDGs推進の目標				管理する指標	目標値（2024年）	目標値（2025年）			実績（2024年1-6月）	実績（2025年1-6月）
1	沖縄のDXプロジェクトにおける、琉球びんが産業界の発展に向けた知識共有、及び商品開発の推進	経済	優先課題⑤	⑤-2	情報通信産業が新たな産業へと変革し、産業DXを支えるパートナーとして、沖縄の産業の持続的発展に寄与することを実現する。	8.5 11.4 12.8	・琉球びんが産業界と連携・協力するネットワークが構築されている。	ライセンス事業案件数	3件	15件	8件	42%		
2	沖縄県内の大学/高校/中学生向けにIT領域を活用したSDGsに関する講義の提供	社会	優先課題③	③-2	時代に対応し、生きかきを得る、多様な学びの環境の提供を実現する。	4.1 4.3	・「休・ボ・ト・ス」 ・中企業家同友会 ・各学生連誼会	講義回数	0回	10回	5回	50%	・2025年2月-3月にかけて講義を10回以上予定しており、目標値に到達する見込み。	
3	バグアスアサイクプロジェクトの普及と展開	環境	優先課題⑦	⑦-2	持続可能な消費・生産、自然と調和したライフスタイルの形成、地域経済の活性化によって循環型社会を実現する。	12.2 12.4 12.5 12.6	株式会社BAGASSE UPCYCLE	レンタル数	150着	3000着	292着	5%		
上記の取組に加えて、今後特に注力する活動が追加され、記載ください。（分類は社会・環境・経済・ガバナンス・地域経済への貢献・循環型社会への貢献から自由に選択ください）														
4	沖縄のDXプロジェクトにおける、高層の雨水処理稼働	環境	任意	優先課題③	③-2	情報通信産業が新たな産業へと変革し、産業DXを支えるパートナーとして、沖縄の産業の持続的発展に寄与することを実現する。	6.6 6.6 9.4 12.4 12.6	Watsumi	受注案件数	1件	5件	2件	25%	県内県外両方（各産業界）メーカーとのサービス連携が進み、従来のシステム、日本メーカーでの契約2件にとどまる
5	脱炭素経営の推進	環境	任意	優先課題⑥	⑥-2	2050年度カーボンニュートラルの実現に向け、本県の地域特性に合ったカーボンニュートラルの導入拡大や省エネ等、対策の推進、二酸化炭素削減対策等が、気候に強い県として脱炭素社会に向けた実現を実現する。	7.1 7.2 7.3 12.4	・株式会社バーネットプラットフォーム ・一般社団法人沖縄環境科学センター	CO2排出量	169.6 t-CO2	155.6 t-CO2	154.4 t-CO2	109%	

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

取組	取組の詳細	取組の概要	取組の進捗	KPIに関する設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	取組を推進する体制
取組1	<p>各活動・取組に関する詳細</p> <p>※各活動・取組を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成状況に基づき、将来の展開や今後目標とする項目についても必ず記入してください。</p> <p>・一般社団法人「琉球びんが産業界と連携・協力するネットワーク」を設立し、会員企業と共同で琉球びんがの魅力を全県に広める取り組みや、案件情報提供や後継者問題などの課題解決に取り組んでいる。                  ・okicomが実質的な運営主体となり、人的リソース、必要に応じた資金力リソースを提供している。</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること                  ・ライセンス事業、普及啓発事業、技術研修事業、人材モニタリング事業を展開している。                  ・現場で、個人/県内業界に対しては、工務費ベースの認定シェア：16%、職人費ベースの認定シェア：38%、付加価値ベースの認定シェア：50%以上</p> <p>取組において、今後予定していること                  ・デジタルでの商品開発を進め、有形無形の文化を未来につなげ、産業として活性化させる</p> <p>KPIに関する設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法                  ・現在受注案件数は増加傾向にあり、情報提供や人材の増加等、未だ取り組みが不十分であることから、年間目標として、年間目標が2年後には15件以上増加する見込みとする                  ・コンゴでは、特に琉球びんがとの協賛が期待されており、その活動に取り組んでいるが、ライセンス事業に関するKPI設定している。</p> <p>取組を推進する体制                  ・琉球びんがが普及ネットワーク（弊社新規事業企画部参照）</p>	<p>貴社が行っているBITを活用したSDGs活動について、資料や体験ツールを構築し、大学生～中学生向けに展開を行う。若年層からSDGsの意義を理解し、具体的な取り組みを推進する</p>	<p>現在、関連企業/団体からの学生向け講義依頼が年間10～20件程度あり、IT領域で社会人現場での講義を行っている</p>	<p>現在も講義依頼を多数受けているが、内容を充実させる事で実施効果が可視化できると考えている                  ・実際に弊社のSDGs知識を深め、よりよい講義内容を構築する</p>	<p>若手社員を中心に講義チームを構築する</p>
取組2	<p>株式会社BAGASSE UPCYCLE設立しかりゆしかりゆし（R&amp;S）を利用した循環型経済ビジネスモデルの構築</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること                  ・かりゆしウェアのシェアリングサービス展開</p> <p>取組において、今後予定していること                  ・現在の顧客は観光客向けだが、ホテル業界やウェア業界へ顧客を拡大している                  ・Product Market Fitの検証を、良い形で進めたい、市場へのブランド浸透及び、RFIDによるウェア管理の導入（2023年度実証実験を終了し、即時実装予定）とODXを進めると、収益性を高めたい。</p> <p>KPIに関する設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法                  ・マーケット規模が十分でまだ伸び代があり、新入社員を採用し、人材育成/確保が向いている。そのため、目標値に設定出来る見込み                  ・現状、マーケットシェア1%も取れていない一方で、22年度60着、23年度250着、24年度1090着と、着実に事業成長を遂げている。</p> <p>取組を推進する体制                  ・株式会社BAGASSE UPCYCLE（弊社新規事業企画部参照）</p>	<p>既存の雨水設備は大型かつ高価なため、中小規模の宿泊施設や個人向けに展開しているなど、多くの課題を抱える製造業の雨水問題への取り組みを行う</p>	<p>・OIST研究機関から発生したWatsumiと共同で雨水処理システム構築に向け実験を開始している</p>	<p>現在の開発段階においては受注案件数をKPIとしたい</p>	<p>新規事業企画部・システム開発部                  ・Watsumi</p>
取組3	<p>2050年までのカーボンニュートラルの達成を目指し、脱炭素経営に関して、Scope1及び2の排出を行い、SBTへの登録を行うと共に、CO2排出量の削減に取り組む。                  ・利用する電力に關しても再生エネルギーに切り替える</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること                  ・環境コンサルティング会社との契約を締結し、9月-10月におけるScope1/2の排出を行う                  ・2023年度の実績として、Scope1：117.4t-CO2、Scope2：52.2t-CO2、合計169.6 t-CO2 ・再生100% action及び、SBTに登録を行う。米国の規格である68-corpの取組を行う</p> <p>取組において、今後予定していること                  ・上記決定事項を推進する                  ・CO2削減の目標として、営業車両EVへの切り替え、社内の太陽光パネルの設置、社員へのEVの奨励（EV購入手当の検討）</p> <p>KPIに関する設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法                  ・CO2削減に関して、年間4.2%削減を目標とする。2025年のCO2排出量は169.6x0.958x155.65（t-CO2）以下となることを目標とする。                  ・妥当性：SBTに準拠した水準である。計測方法は年度ベースでScope1/2を算出、モニターを行う</p> <p>取組を推進する体制                  ・役員にて脱炭素推進チームを構築、推進を行う</p>	<p>雨水処理システムの普及を推進する</p>	<p>現在の開発段階においては受注案件数をKPIとしたい</p>	<p>新規事業企画部・システム開発部                  ・Watsumi</p>	
取組4	<p>2050年までのカーボンニュートラルの達成を目指し、脱炭素経営に関して、Scope1及び2の排出を行い、SBTへの登録を行うと共に、CO2排出量の削減に取り組む。                  ・利用する電力に關しても再生エネルギーに切り替える</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること                  ・環境コンサルティング会社との契約を締結し、9月-10月におけるScope1/2の排出を行う                  ・2023年度の実績として、Scope1：117.4t-CO2、Scope2：52.2t-CO2、合計169.6 t-CO2 ・再生100% action及び、SBTに登録を行う。米国の規格である68-corpの取組を行う</p> <p>取組において、今後予定していること                  ・上記決定事項を推進する                  ・CO2削減の目標として、営業車両EVへの切り替え、社内の太陽光パネルの設置、社員へのEVの奨励（EV購入手当の検討）</p> <p>KPIに関する設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法                  ・CO2削減に関して、年間4.2%削減を目標とする。2025年のCO2排出量は169.6x0.958x155.65（t-CO2）以下となることを目標とする。                  ・妥当性：SBTに準拠した水準である。計測方法は年度ベースでScope1/2を算出、モニターを行う</p> <p>取組を推進する体制                  ・役員にて脱炭素推進チームを構築、推進を行う</p>	<p>雨水処理システムの普及を推進する</p>	<p>現在の開発段階においては受注案件数をKPIとしたい</p>	<p>新規事業企画部・システム開発部                  ・Watsumi</p>	
取組5	<p>2050年までのカーボンニュートラルの達成を目指し、脱炭素経営に関して、Scope1及び2の排出を行い、SBTへの登録を行うと共に、CO2排出量の削減に取り組む。                  ・利用する電力に關しても再生エネルギーに切り替える</p> <p>取組において、現時点で実施/決定していること                  ・環境コンサルティング会社との契約を締結し、9月-10月におけるScope1/2の排出を行う                  ・2023年度の実績として、Scope1：117.4t-CO2、Scope2：52.2t-CO2、合計169.6 t-CO2 ・再生100% action及び、SBTに登録を行う。米国の規格である68-corpの取組を行う</p> <p>取組において、今後予定していること                  ・上記決定事項を推進する                  ・CO2削減の目標として、営業車両EVへの切り替え、社内の太陽光パネルの設置、社員へのEVの奨励（EV購入手当の検討）</p> <p>KPIに関する設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法                  ・CO2削減に関して、年間4.2%削減を目標とする。2025年のCO2排出量は169.6x0.958x155.65（t-CO2）以下となることを目標とする。                  ・妥当性：SBTに準拠した水準である。計測方法は年度ベースでScope1/2を算出、モニターを行う</p> <p>取組を推進する体制                  ・役員にて脱炭素推進チームを構築、推進を行う</p>	<p>雨水処理システムの普及を推進する</p>	<p>現在の開発段階においては受注案件数をKPIとしたい</p>	<p>新規事業企画部・システム開発部                  ・Watsumi</p>	

(4) 活動・取組結果

活動・取組結果	
<p>※活動・取組結果を詳細に記載ください。なお、(2)のKPI達成度が低い活動・取組結果については、今後の改善策をできるだけ記入してください。                  ※(3)各活動・取組に関する詳細に記載の内容に列記する形で、活動・取組結果を記入してください。</p>	
取組1	<p>ライセンス事業において、今年度は新規に「琉球びんが」のデザインを産業界にパッケージに活用したことで、新たな分野としてオフィス作業やリモートワークなどにも展開できた。また、沖縄県最大の法政に特化したデザインを採用したことで、琉球びんがの魅力を発揮できるターゲットが広がった。</p>
取組2	<p>大学生へ、弊社の「ITを活用したSDGs活動」を紹介し、自身が考えた、ITを活用したSDGs活動のアイデアをプレゼンテーションしてもらった上で、具体的なSDGsについて考えてもらう時間を設けた。                  リソース不足で2024年度は実施回数が伸びなかったが、今後学生との継続機会が多くあり、人も補充出来たため、提供回数は増える見込みである。</p>
取組3	<p>BAGASSE UPCYCLE進捗が個人レベルに留まり、レンタル品の伸びが期待通りであるものの、ホテルでの個人利用に加え、MICEなど旅行会社と連携した団体利用案件の獲得ができていない。また、今後の取組成果としては、収益性の観点からBAGASSE UPCYCLEがサービスとして活用しているRFIDによるウェア管理を社内に導入し展開することで実現される。                  県内リゾートウェアの参画者/のスタッフウェアの取り扱いウェアを利用頂き、参列のために購入して使用するに利用しなくなる（捨てて）かりゆしウェアを減らす目的のプロジェクトも進んでいる。昨年、県内かりゆしウェアメーカー最大の百貨店、ウェディングウェアレンタルの県内シェアNo.1のAnneと連携し、パーソナルウェアを販売する家族向けかりゆしウェアを開発。Anneと連携在庫を持ち、サービス提供を今年の1月からスタートしている。ウェディング向けの貸し出しについては、沖縄ハーブビューホテルでの試みの際に、同ホテル宿泊者がレンタルする件数が年間10～20件程度と少数だが一定数継続している。</p>
取組4	<p>雨水処理システムの普及を推進する</p>
取組5	<p>Scope1とScope2の算定を自主で初回実施。結果的には削減されていたが、具体的な排出削減についての取り組みは、SBTの申請検討時に、数値目標に対する具体的な施策を再度整理することとなった。</p>